

無料

かわら版

深川福々

2017年
6-7月
第47号

■ 深川界隈マップ ■ 清澄白河 森下 門前仲町 東陽町 扇橋



ふかぷくインタビュー
佐野造船所 船大工
佐野龍太郎さん

まちの歴史から最新トピックまで
イベント・カルチャー情報掲載

現在も現役で木製の船を造り続けている船大工は、佐野造船所（江東区潮見）の3人しかいないという。江戸時代から9代目となる社長の佐野龍太郎さん、弟の稔さん、そして龍太郎さんの長男の龍也さんだ。江戸前の和船からヨット、クルーザー、モーターボートへと主力は時代とともに変わりながらも、和船造りをもとにした技術を守り、海外からも高い評価を受けている。写真家の大西みつぐさんとともに造船所を訪ね、龍太郎さんに「木の船」を造る技と精神について聞いた。

「いまも和船を建造中なのですか」
ある自治体から依頼され、まちおこしのための観光船を造っています。7年ぶりです。和船を造る機会はないかないですが、いまは原寸大の図面を書いているところです。7年前に造った江東区所有の「みやこどり」をもとにしていますが、観光用なので船幅を広くして安定性を高めるなどアレンジを加えています。



佐野造船所の3人の船大工。右から佐野龍太郎さん、長男の龍也さん、弟の稔さん。後ろの建造中の船が龍也さんの最初の自作となるモーターボートだ。

「代々伝えられている図面があるのですか」

船大工には図面はなかったのですよ。技術は伝えられていくもので、さらに深川や品川、葛西など土地ごとや漁の用途ごとに技術は違う。もう現役の船大工さんはいないですが、いま私たちが造っているような江戸前の網船だけは、漁ではなく遊びに使った船なので特別です。かつて深川、日本橋、浜町、柳橋付近の船は、豪華で見てくれがとてよかったです。最高級の杉や檜が使われ、節の一つもあつてはいけなかった。問屋の旦那衆や歌舞伎役者が粋を競っていたのですね。

「粋の象徴が江戸前の船だったのですか。しかし、いま新造できるのは佐野造船所だけですね」

そうですね。だから先代の一郎（故人）の時代から図面を書き、工程を映像に残すようにしました。16年前に「ゆりかもめ」（江東区所有）を造ったときは先代がメインで私と稔が手伝い、「みやこどり」は私と稔の2人がメインで龍也が手伝う。そうして技術を継承しています。龍也は今度も手伝いをし、一方で初めて自分で木製のモーターボートを造っているところです。私も最初に先代に造らされましたが、依頼ではなく自分の船。金がかかって仕方がないです（笑）。一つの船をゼロからまとめることができて一人前ですから。

「東京で漁ができなくなり、船大工はほとんど廃業。一郎さんがヨット作りに乗り出し、クルーザーやモーターボートも造るようになりました」
船大工だから木の船を造るしかない。時代の要求にも応えないと生き残っていけない。しかし、新しいものだけを追いかけて、古いものを捨てていつては何の意味もない。FRP（強化プラスチック）の船では大手メーカーに勝てるはずもない。だから木の船なのです。船大工だけではなく、舟釘や艀の職人もいなくなり、自分たちで鍛冶をして釘を作り、艀も自作です。和船造りの技術は日本の船の基本だから残さないといけない。

「佐野造船所のヨットは世界一だ」という話を聞いた。



33年前に佐野龍太郎さんが建造したヨット。龍太郎さん自身もヨットマンで数々の大会に出場し、神戸や東北まで航海した。「自分が乗れないと、造ることはできませんよ」と話す海の男でもある。

きました。

江戸末期から深川の牡丹町で船大工を営んでいましたが、東京都が金を払うから、立ち退いて廃業しろと言ってきた。ニュースで話題になり、区長だった小松崎軍次さんが「貴重な技術を江東区の外に出すな」と場所を探してくれて、いまの潮見に1992年に移転しました。その頃に英国やニュージーランドから「うちに来ないか」という誘いがあり、そういう話になったんでしょう。

「深川について思うことをお聞かせください」
気がよく、人付き合いを大事にしていますね。新しさを追いながら、古さを捨ててはいけいないのは、町も船も同じ。基本はこれだ、本物はこれだ、と理解することが大切だと思います。

「佐野さんの和船は、横十間川の「和船友の会」の無料乗船で体験できますね。貴重なお話をありがとうございました」

（聞き手・東海亮樹、写真・大西みつぐ）

裏面マップ 32 番

裏面東陽町マップ 33 番

裏面マップ 34 番

Spa
Brico

はりきゅう / ボディケア

完全予約制 Open: tue-sat 10:00-21:00
03-6666-4103 Close: sun, mon
江東区平野 1-9-7 Fukadaso204 www.spabrico.com

レコードお売り下さい



USED RECORD SHOP
ダウントウンレコード

tel: 03-3645-0155

江東区東陽 3-27-3 www.downtownrecords.jp

江東区のまちあるき案内所

＋
貸スペース

10:00-18:00
(金・土～19:00)
月曜休館

深川東京モダン館

門前仲町 1-19-15 ☎03-5639-1776

新 知 故 温 深

～写真で比べる昔と今～ (9)

大正～昭和初期の清澄の人々

昨年に続き、清澄通り沿いの旧東京市営店舗向住宅（通称「清澄長屋」）にお住まいの早川鮎之介さん（86歳）に、父の良造さん撮影の写真について伺った。アメリカ帰りの親戚からもらったコダックで撮影し、戦災を免れた貴重な写真だ。

1923（大正12）年の関東大震災では、陶器店の早川さん宅や周辺の建物が倒壊し、仮設住宅が建てられた。そして復興事業として28（昭和3）年に現在の建物が完成した。浴衣姿の人達が集う写真は早川さん宅の屋上だ。右端が祖父の司馬太郎さん。裏には「昭和4年9月1日」の文字。震災記念日の集まりだった。お酒を飲みながら慰労し合っていたのだろう。屋上は備え付けで当時は隣家との境目がなかった。ひょうたんらしき棚。三重塔を立てた池もあった。鮎之介さんが子どもの頃は格好の遊び場だったという。「生ま

れる前の写真ですが半分懐かしいですね」と語る。

司馬太郎さんは1864（元治元）年生まれで伊勢の出身。屋上庭園に加え、2階の部屋には炉があり、お茶を点てることもあった風流人だが、怒るとゲンコツが飛び、「頑固でおっかない人」だったという。

もう一枚の写真は隣の鶏肉店「田政」の兄弟。まだ震災後の仮設住宅だった大正末期の撮影だ。「大茶目」「小茶目」と呼ばれ、近所の人気者だったそう。鮎之介さんは、大人になったお兄さんにおんぶしてもらったという。90年以上の時を超えて元気な話し声が聞こえてくるようだ。（文・東海明子）



大茶目（右）と小茶目と呼ばれた兄弟。家は鶏肉店だから、子どもたちだけで行儀を気にせずご飯を食べていたのだろう。いたずら子だったに違いない＝大正13年



早川さん宅の屋上で催された関東大震災から6年後の記念日の集まり。右上はひょうたん棚のようだ。コーヒーカップで何かを飲んでいるように見える。当時は早川家は陶器店だったので、カップがあったのだろう。「でも中味はコーヒーではなく、お酒だったでしょう」と早川さん。＝昭和4年



工事の第1期と2期で二つに分かれる「清澄長屋」。2期（右側）は東京市の予算の都合で屋上が整備されなかったそう。＝2017年

鬼平太生半可帳

36

大倉 恭弘

京都といえは舞妓（まいこ）さんもステキよね

開放的なデッキからお茶しつつ清洲橋や隅田川を眺められるってぜいたくよね

マイコさんといえはマイコー（Michael）は最高さ

素晴らしい景色を目にして京都・鴨川の川床かわゆかを連想する人もいるだろうな

アタク!!

EYE

スタッフ・リレーコラム(26)

文と写真 河野光彦

熊本から深川に思いを馳せる
東京を離れ熊本へ戻って一年が経つ。
浮草のような人生を考え直して実家に戻ることを決め、東京生活の名残惜しんでいた昨年の4月中旬。まさか地元が「被災地」と呼ばれるとは思いませんでした。
自宅は倒壊を免れたが、少し行けば全壊の家が道をふさぎ、よく遊んでいた祖母宅は隣家に潰され入れなくなっていました。
あれから一年、被災家屋の解体が進み、町中に虫喰いのように更地が広がっている。道路には未だ凸凹やひび割れなどの爪痕が残っていて、直される気配もない。復興へ向けてたいした活動はできないけれど、衰退に拍車がかかるこの町に暮らすことで、少しでも足になればと思う。とはいっても、深川福々のポ



震災の傷跡が今なお残る熊本城。

ランディアで出会った粋な人々や町のぬくもりは忘れがたく、今なお、ふかぶくマップの編集をしつつ、遠き深川に思いを馳せている。
地元の町の傷が癒え、自分も成長できた頃、また上京するのだが夢だ。熊本に心を寄せてくださった皆様、感謝しています。ありがとうございます。

裏面マップ 29 番

裏面マップ 30 番

裏面マップ 31 番

こんにちは。
森下のヘアサロン stella だぞ。
髪と月と土曜日にやさしい
サロンを目指しています。

stella

東京都江東区森下 2-31-11

tel 03-6659-9881 fax 03-6659-9882

mail info@stella-hair.com

定休日 火曜・第3水曜 日 10:00～20:00

深川pompette
ぽんべつ

18:00～23:00 (22:30 LO)
定休日 日曜・月曜・祝日

〒135-0042
東京都江東区木場 5-12-3 遠藤ビル 2F
Tel. 070-6470-5123

www.facebook.com/fukagawapompette
twitter @FUKAGAWAPOM

Demi Cafe * Gallery
Corner

カフェ・お食事・占い・ワークショップ etc

毎週木曜日営業 Open/11:45～ Close/19:00
英語カフェ 16:00～17:30 1000円＋オーダー
江東区清澄 2-7-11 TEL 03-5809-9556
@DemiCafe_Corner ★占いも大人気です！
https://www.facebook.com/cafecorner/

はっけふい 深川の相撲部屋

尾車部屋 豪風篇



稽古後、右ひじをアイスバックで冷やす豪風。「人生で一番、自分の体と向き合ってます！」と話した。

ベテラン力士の責任
豪風旭（たけがぜ・あきら）は、昨年の9月場所から今年1月場所まで三場所連続で勝ち越した。学生横綱から角界入りし、スピード出世で入幕。幕内で好成績を維持したが、今回の三場所連続勝ち越しは自身初だった。2014年に35歳で最年長初金星と戦後最年長新関脇という記録を作った。強さに衰えは見えない。「この年齢ですごくいいと言われるけれど、『この』の基準は何なのでしょう」と豪風。自分も年齢に惑わされまいと意識しているようだ。

引退は数年前から常に考えている。「自己最高位更新には責任が伴う。横綱ではないが、横綱が引退を考えるときのような感じかもしれない」。稽古場でも本場所でも、「次はないぞ」という気持ちで土俵に上がるという。

先月、ブログで巡業欠席のお詫びとともに、人生2度目の右ひじ手術を報告。3月場所前の受診で既に悪化していた。初期段階で気づかなかったことに「お相撲さんって強いんだな」と他人事のように言いつつも、体の声に耳を傾けなかったと反省する。退院後は、入念に体のメンテナンスを行い、リハビリの先生からも「驚異的な回復」と言われた。敬服するばかりだ。

北秋田出身。昨年、長年の成績や地元福祉施設訪問などの功績で秋田県民栄誉賞も受賞。今年38歳になるベテラン力士は、闘志ある限り、勝ち続けることが自分の責務だと考えているようだ。（文・イナバリエ、写真・東海明子）

ふかが ンダーランド

地元の人も「使い倒して」！
清洲橋のたもと、隅田川べりに4月、「LYRO 東京清澄 THE SHARE HOTELS」がオープンした。築28年のオフィスビルをリノベーションし、オープンスペース「かわてらす」を併設するなど、宿泊客だけでなく、誰もが水辺を楽しめるという開放的なホテルだ。

清澄1丁目の工場や倉庫などが立ち並ぶ地域に、さわやかな青色のエントランスが目まを引く。LYROは「流路」にかけたという、水をイメージしたデザインは、館内でも水辺の心地よさを感じられる。

隅田川を目の前にした「かわてらす」は86坪の広々とした空間に、テーブルと椅子が設置されている。企画・運営会社「リビタ」の岡田尚子さんは「お散歩やランニングの途中にくつろいでください」と話している。シェアホテルと名付けたのは、宿泊客と地元の人々が水辺の楽しい時間をシェア（分け合って）してほしいという意味だという。「かわてらす」は東京都の水辺活性化事業で、リビタは事業者の一つとして選ばれた。「今後は音楽や映画など様々なイベントで地元の人たちとコラボレーションし



部屋の浴室から隅田川が展望でき、壁紙は北斎の浮世絵がモチーフで、ホテルとしても魅力的。リズナブルなドミトリもある。江東区清澄 1-1-7、電話 03-6458-5540。



「五感で楽しむ場をつくる」

多目的スペース「Chaabee」店主 藤田和美さん

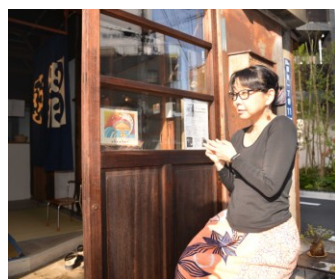
藤田和美さんは昨年9月、元鉄工所をリノベーションして、スペース「Chaabee」（チャビー）をオープンした。門前仲町駅から徒歩8分の福住。マンションの狭間に、そこだけ時間が止まったような木造家屋がたたずむ。音楽ライブやワークショップ、世界各地の文化や料理を楽しむ「千夜一夜」といったイベントの他、一点ものの服、バッグ、絵画などの展示、販売を行う。コンセプトは「五感で楽しむ場づくり」だ。

藤田さんは会社勤めをしていたが、起業を考えて2年前に退社した。一昨年末、物件の相談に行く途中、偶然にこの場所を通りかかって建物が目に入った。「貸し物件ではなかったんです。お店のビジョンを書き留めた資料を不動産屋さんから大家さんに渡してもらった」という。粘り強い交渉の末に内見がかない、夏にようやく契約にこぎ着けた。「大家さんと一緒に片付けをしていたとき、建物って生きていると感じて、愛着が湧きました」。温もりを感じて外観はそのままだ、快適な空間が出来上がった。

「自分が緊張しない場所にも思えたから」と語る藤田さんが、店を始めて多くの人に出会う毎日の中で、社員教育を行っていた会社員時代の経験が大いに

生きていて感じる。

29歳の時にインドに1年間、奨学金で留学。Chaabeeとはヒンディー語で鍵の意味だという。「外から鍵をかけられず、何もできないと思っていたのですが、鍵はもう持っていたことに、あるとき気付いたんです。自分で開ければ、起業だってできました。絵本セラピストの資格も持つ。大人のための「読み聞かせサロン」を不定期に開催する。イベントがない日は17時からバーとして営業。大きな木製テーブルで、初対面の人とも不思議と話が弾む。Chaabeeでの時間をぜひ体験してほしい。（文・東海明子、写真・東海亮樹）



Chaabee の店先でインタビューに答える藤田和美さん。1階、2階ともレンタル可能。江東区福住 1-11-11。1週間の営業日と営業時間はfacebook ページに掲載。

裏面マップ 26 番

裏面マップ 27 番

裏面マップ 28 番

フレーム専門店
ミニ額 100 点以上展示販売中！

サトウ画材

月～金 am 10:00～pm 6:00
(土曜日はpm 5:00 まで)

日/祭 休み

〒135-0004 東京都江東区森下 3-14-3

tel:03-5625-7566

fax:03-5625-7567 http://gazaisato.co.jp/

大人のためのピアノ

初心者の方、プランクのある方、主婦の方大歓迎

お得なデライト/30分 2100円～

●レッスンの内容はオーダーメイド

曜日・時間は完全予約制 (月1回無料体験できます)

●貸ピアノスタジオ完備 30分 500円～

無料体験レッスン受付中!!

モードプラス ピアノ&リトミック

〒135-0022 江東区三好 2-14-7 グレースシマ101

みんな ちがって すばらしい

多国籍料理と薬石コーヒー

小さな子供様
ペット 歓迎!

M
みやあ

Cafemöchö
カフェミチヨ
www.michis.jp

江東区清澄 3-10-11 (高橋さぼ)

TEL: 070-6472-4569

12:00～22:00 (LO) 不定休